長い歴史の中で生まれ はぐくまれ 守り伝えられてきた

あらかわの文化財

区は、荒川区文化財保護条例に基づいて、区内の貴重な文化財を保護・継承するために、文化財の指定・登録をしています。
今号では、令和２年度に指定・登録した文化財等を紹介します。

問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎（３８０７）９２３４

指定無形文化財

工芸技術 漆塗（うるしぬり）

角光男さん（西尾久４丁目）

西尾久にいた義兄、加藤敏朗氏のもとで技術を修得。木地に漆を塗り重ね強度を高める江戸以来の技法で、約50年にわたり丈夫な漆器を作り続けています。椀を中心に独自の発想で製品化した陶製の漆塗ビアカップ等も手がけます。

登録無形文化財

工芸技術 彫金（ちょうきん）

田村尚子さん（号・北東尚呼）（西日暮里１丁目）

東京藝（げい）術大学修士課程修了後、桂盛仁氏（人間国宝）のもとで技術を修得。デザインから彫り、象嵌（ぞうがん）、研磨を一貫して行い、器物や装飾品等を手がけます。また、古い仏具・美術品の修理も行っています。

内容変更した区指定有形文化財

歴史資料 談林派歴代の句碑（だんりんは くひ）

所蔵者　養福寺（西日暮里３丁目）

▲梅翁花樽碑標石

▲甃石の碑

談林派の祖、西山宗因を顕彰するために建立された石碑群。梅翁花樽碑・月の碑・菱形標石（寛政４年）、雪の碑（文化５年）を平成４年度に指定しました。
今回、梅翁花樽碑標石（寛政８年）、甃（しゅう）石の碑（寛政10年）の２基を談林派歴代の句碑と一連のものとして追加します。

登録有形文化財

歴史資料 妍斎落歯塚の碑（けんさいおちばづかひ）

（寛政九年十月銘）

所蔵者　養福寺（西日暮里３丁目）

談林派歴代の句碑の建立等、西山宗因の顕彰に尽力した俳人、島津富（妍斎）の歯を埋納した塚の石碑。寛政９年10月、門人の島得器が談林派の祖、西山宗因の梅翁花樽碑の傍らに埋め、塚を築いて建立。
後年、現在の参道脇に移されました。

新たに購入した伝統工芸品と伝統工芸技術記録映像　荒川ふるさと文化館

区では、令和元年度区指定無形文化財保持者（つまみかんざし）の石田一郎さんが製作した作品を購入し、「速報！あらかわの文化財展」で展示します。
また、製作工程を記録した映像「伝統に生きる」を制作しました。

DVDの貸し出し場所　ゆいの森あらかわ・各図書館
※荒川区ホームページでも視聴できます

▲七五三のつまみかんざし「鶴」

伝統工芸技術記録映像「伝統に生きる」上映会

つまみかんざしの石田一郎さんの映像と、鍛（たん）金の桶谷輝明さん（平成30年度区指定無形文化財保持者）の映像を鑑賞後、出演した二人と学芸員によるミニトークを行います。

期　日　５月22日㈯
時　間　▶午後１時30分…石田一郎さん
▶午後２時30分…桶谷輝明さん
会　場　地下１階視聴覚室
定　員　各回15人（申込順）
申込み　4月11日㈰から電話で、荒川ふるさと文化館

速報！あらかわの文化財展

令和２年度に指定・登録した文化財や新たに収集した浮世絵等の館蔵資料等を展示します。

期　日　４月24日㈯～６月６日㈰
※㈪、５月６日・13日の㈭は休館。５月３日㈷は開館
時　間　午前９時30分～午後５時　※入館は午後４時30分まで
会　場　１階企画展示室
入館料　100円
※区内在住の中学生以下・65歳以上は無料
※障がい者と介助者は無料
※５月18日㈫の「国際博物館の日」は無料。５月15日㈯・16日㈰の「あらかわ家族の日」は、区内在住の中学生以下のお子さんと一緒に来館した家族は無料

新型コロナウイルス感染症の予防のため、掲載している講座・催し等の期日や内容が変更等する場合があります

あらかわ区報
毎月１日・11日・21日
※５月11日・８月11日・１月11日は休刊です
６万2000部発行

発行 荒川区
〒116-8501　荒川区荒川2-2-3
☎（３８０２）３１１１
FAX（３８０２）６２６２

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/
荒川区ツイッター @arakawakukoho
荒川区フェイスブック https://www.facebook.com/city.arakawa
荒川区メールマガジンの登録は荒川区ホームページから（携帯電話は t-arakawa@sg-p.jpに空メールを送信）

新聞未購読で、希望する方には、あらかわ区報を自宅に直接届けます。広報課広報係☎（３８０２）４９５７へ
（荒川区ホームページからも申し込めます）

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。